



第18-113号

2019年2月20日

洗練された橋上駅舎や上下線同一のホームに刷新！！**2019年3月16日、新しい代々木八幡駅を使用開始します。****10両編成対応のホーム完成に伴い、新宿～代々木上原間の各駅停車の一部を10両で運転**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2019年3月16日（土）始発から、新しい代々木八幡駅の使用を開始します。

代々木八幡駅では、2015年から、上下線同一で10両編成の列車が停車できる島式ホームと、橋上駅舎の構築を進めてきました。新たな駅舎は洗練されたシャープな外観が特徴で、大型ガラスから採り入れる自然光や内装に使用した木材によって温かみを感じる空間とするとともに、自然換気を取り入れ環境に配慮しています。また、改札の内外にエレベーターを設置するなどバリアフリーも充実しています。（改札外エスカレーターや山手通りへの連絡通路の設置は2019年度中に完了予定）

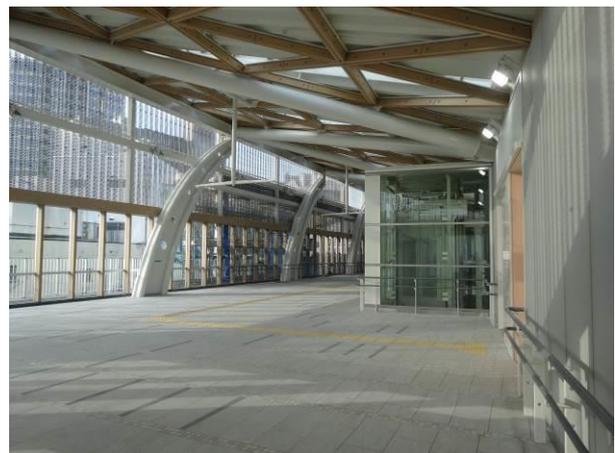
また、新設する島式ホームには、ホームドアを設置して安全性を格段に向上させ、安心、快適に駅をご利用いただけます。

当社では、新しい代々木八幡駅の使用開始と同日に実施するダイヤ改正で、新宿から代々木上原間の各駅停車の一部を10両編成として運転します。朝のラッシュ時間帯を中心に都心方面の更なる輸送力増強を進めることで、小田急線のご利用がさらに便利で快適になります。

構築が進む新しい代々木八幡駅



駅舎外観



改札口内コンコース

新しい代々木八幡駅の概要は下記のとおりです。

記

1. 使用開始 2019年3月16日（土）始発から

2. 使用開始施設

(1) 駅舎

① 建物概要

- (ア) 建築面積 約1400㎡
- (イ) 構造規模 鉄骨造 地上2階（橋上駅舎）
- (ウ) 建物高さ 約15m

② 主な設備

- (ア) 自動改札機 5台
- (イ) 自動券売機 2台（改札外）
- (ウ) チャージ機 1台（改札内）
- (エ) トイレ 男性トイレ 個室2台、小便器3台、手洗い2ヶ所
女性トイレ 個室3台、手洗い3ヶ所、パウダーコーナー1ヶ所
多目的トイレ 男女各1カ所
- (オ) エレベーター 改札階⇄ホーム階 1基（改札内）
自由通路 南北に各1基（改札外）
- (カ) エスカレーター 改札階⇄ホーム階 上り1基・下り1基（改札内）



ホーム（島式）・ホームドア

(2) ホーム

- ① ホーム形式 島式ホーム1面2線
- ② ホーム延長 210m
- ③ ホームドア 上下ホームに設置（上り線側の一部に可動ステップ※を設置）

※ホームと車両の隙間が広い箇所において、乗降時の踏み外しや転落を防止するため、列車到着時に床面からステップが張り出し隙間を少なくする設備

3. 今後の工事について

- (1) 自由通路におけるエスカレーターを北側に1基（上り）・南側に4基（上り・下り）設置※
（2019年度中に完了予定）※地上から踊り場までで2基、踊り場から改札階までで2基となります
- (2) 改札階から山手通りへの連絡通路、南北の自転車専用横断橋設置（2019年度中に完了予定）

4. 代々木八幡駅の概要

代々木八幡駅は、都心の中に豊かな自然を残す、駅名の由来となった代々木八幡宮や、代々木公園へのお出かけに便利です。また、駅周辺の奥渋谷と呼ばれるエリアには、思わず立ち寄りたくなる個性的なカフェやレストランなどが充実しています。

- (1) 開業日 1927年4月1日
- (2) 所在地 東京都渋谷区代々木5-6-1
- (3) 1日平均乗降人員 20,527人（2017年度）

当社は、新宿から代々木上原間の各駅停車の10両編成での運転を目指して、2010年から区間内の南新宿駅、参宮橋駅、代々木八幡駅のホーム延伸工事を進めてきました。代々木八幡駅の完成によって延伸工事が全て完了し、同区間における10両編成での各駅停車の運転を開始します。

以上